# 経営現況報告会




2012年6月21日

株式会社アドバネクス

本資料は2012年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

# 主な内容

1. 2012年３月期ハイライト

2. 2013年３月期事業方針

3. 2013年３月期業績見通し



ADVANEX

# 1. 2012年３月期ハイライト

# 1-1　2012年３月期通期決算の概要

## ◆減収・増益

・売上高はモーター子会社の非連結化と東日本大震災やタイの洪水等の影響により、前期から大幅に減少。一方、営業利益は、プラスチック事業の収益改善とヒンジ事業の損失縮小により、前期に比べ10.9%増加。経常利益も43.9%増加。

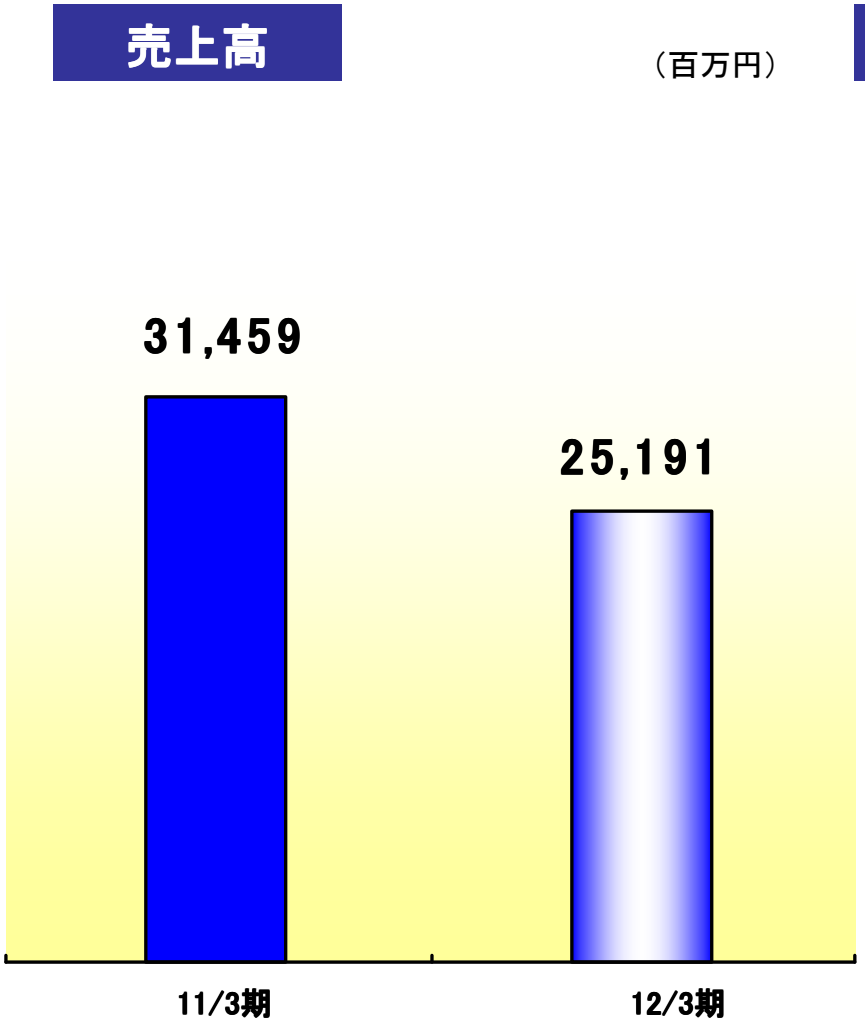
## ◆最終損益は5年ぶりに黒字

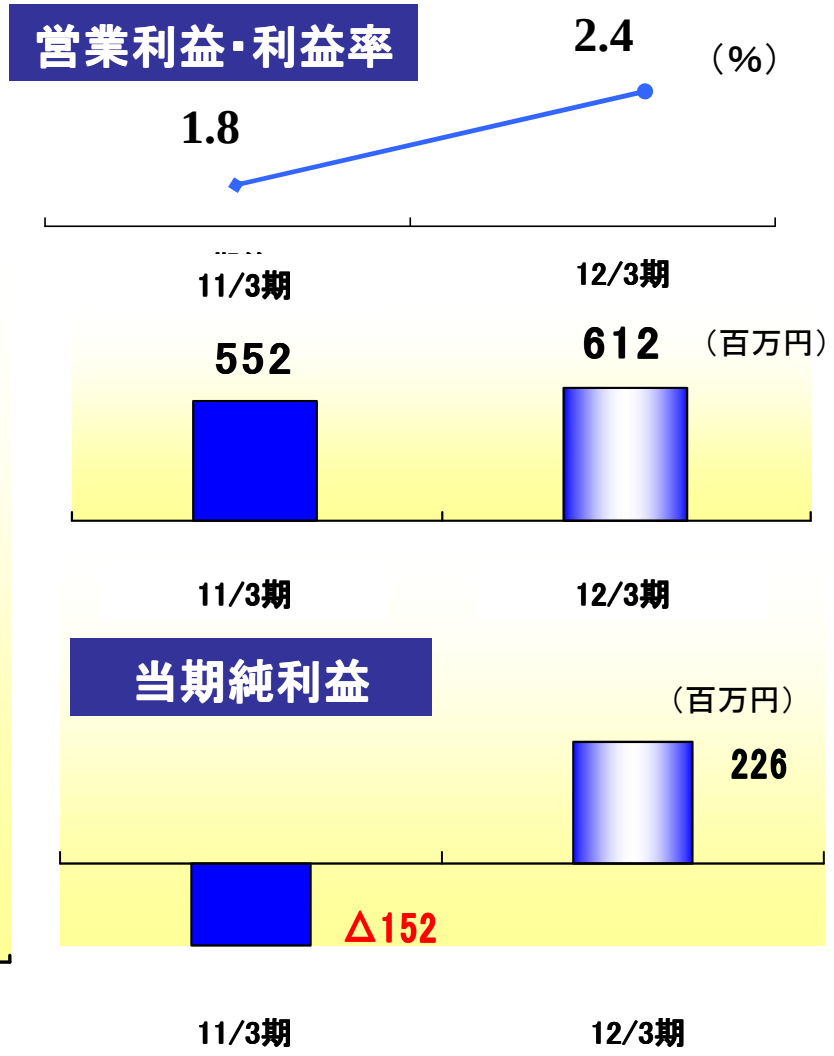
・洪水被害を受けたタイ工場の保険金収入や年金制度の移行に伴う特別利益の発生があったほか、特別損失が前期に比べ大幅に減少。当期純利益は2億26百万円となり、平成19年３月期以来の黒字を計上。

## ◆ヒンジ事業の縮小と再編

・株式会社ストロベリーコーポレーションを昨年１１月に完全子会社化。今年２月にはPC事業を売却。携帯電話向けも縮小徹底し、事業再編。

# 1-2　通期業績前期比較(連結)



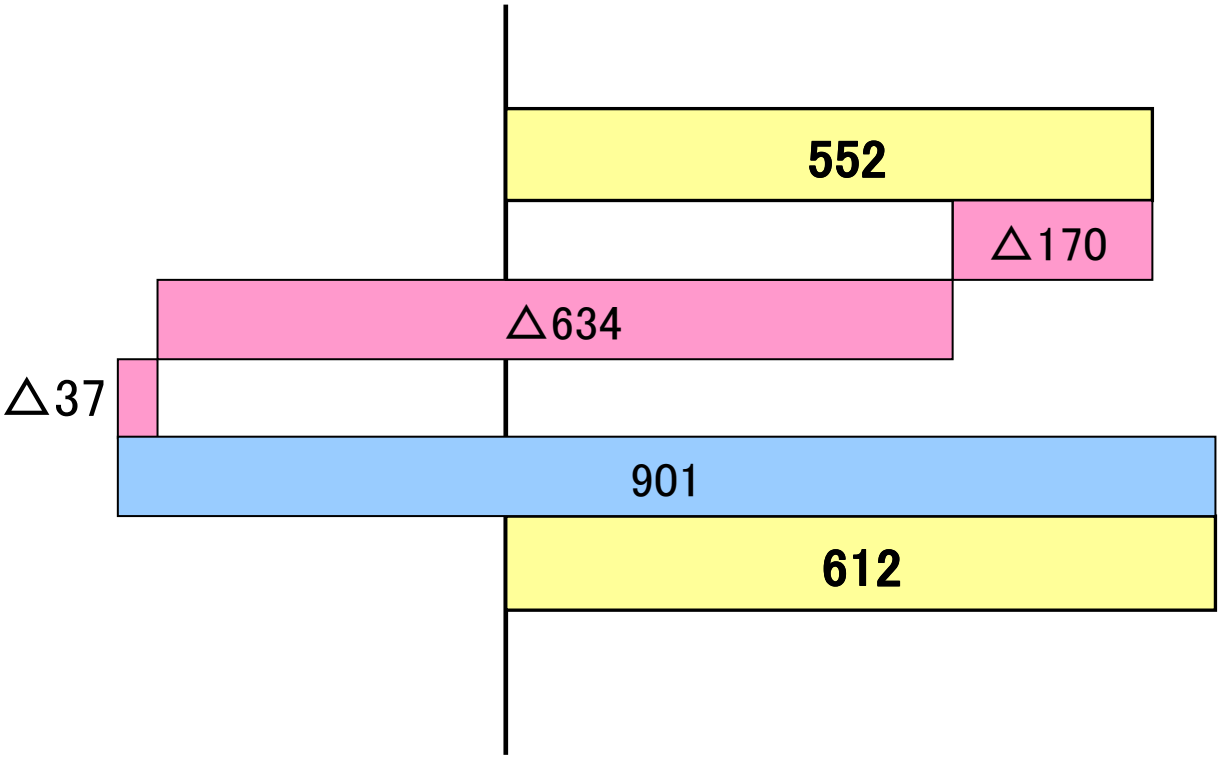






ADVANEX

# 1-3　営業利益の増減

（単位：百万円）




2011/3期営業利益

モーター事業の連結除外による

売上高減少（モーター事業以外）

変動比率悪化（製品値下げ等）

固定費減少ほか（ヒンジ合理化等）

2012/3期営業利益



ADVANEX

# 1-4 特別損益の増減

（百万円）

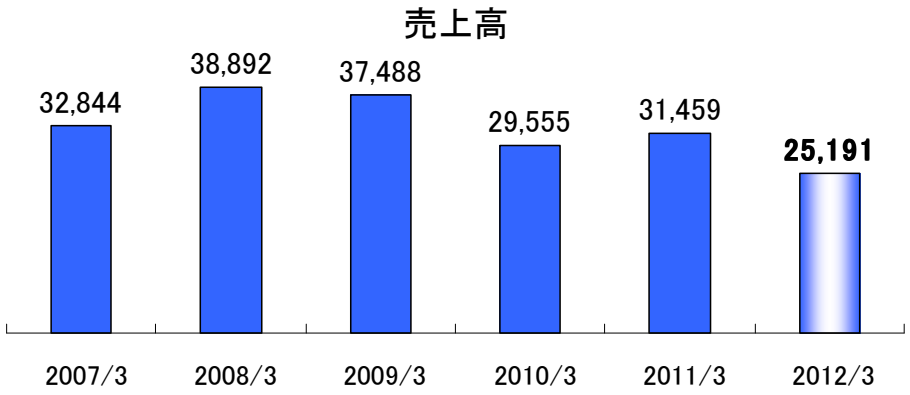
| | 11/3期 | 12/3期 | 前期比 |
|---|---|---|---|
| 特別利益 | 25 | 190<br>年金制度移行 72<br>タイ保険金 90 | ＋165 |
| 特別損失 | △824<br>ヒンジ事業構造改革費用 △680 | △347<br>持分変動損 △ 85<br>株式交換減損 △128<br>タイ災害損失 △ 85 | ＋477 |
| NET | △799 | △157 | ＋642 |

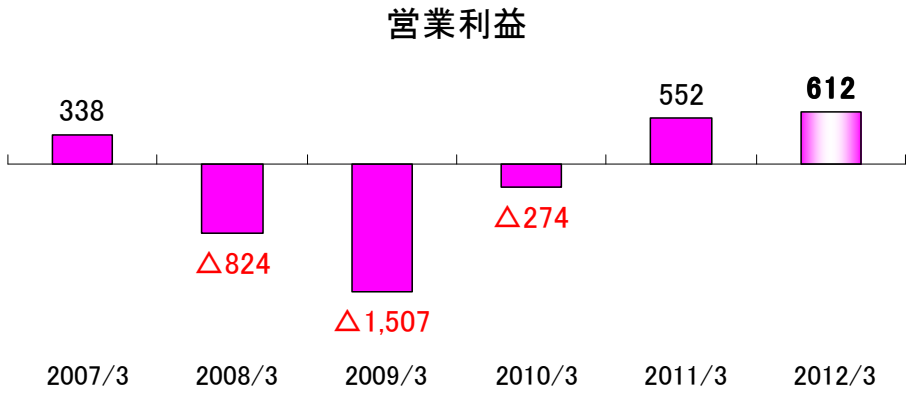


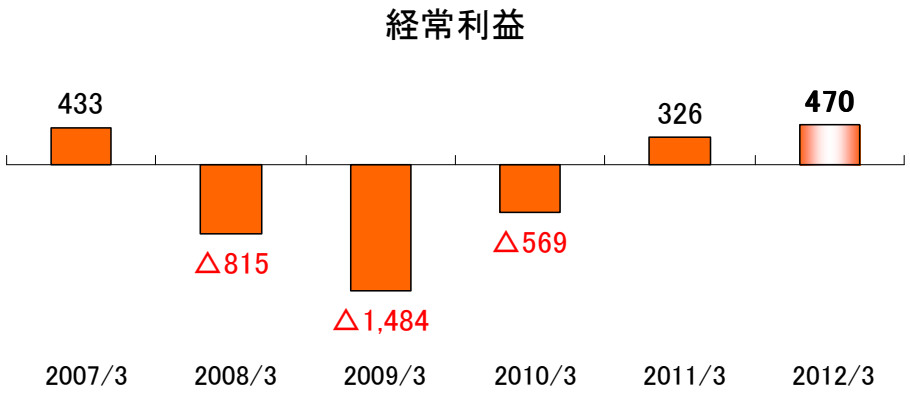
ADVANEX

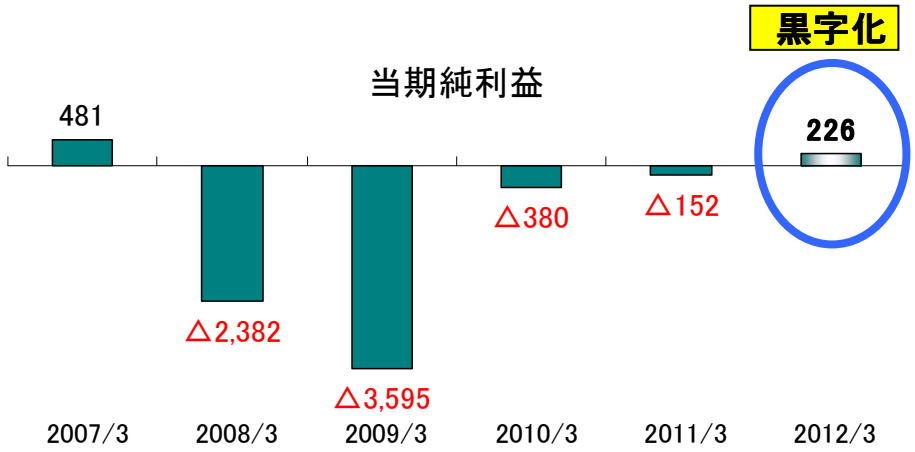
# 1-5　過去の業績推移

（百万円）






ADVANEX

# 1-6 事業体制の再編について

## 1）モーター事業の切り離し（2011年4月）

**フジマイクロが連結子会社から持分法適用会社に移行**

同社が保有する自己株式を第三者に売却、これにより当社の議決権が低下。（44%→28%） 将来的には全株式を売却する予定。

## 2）ヒンジ事業の大規模な縮小

**ストロベリーコーポレーションの完全子会社化とPC事業の売却**

迅速な意思決定とコスト削減の徹底、資金支援体制の構築、グループ内への生産委託等を目的に、昨年11月に株式交換を実施。今年2月には、PC事業を売却し、株式会社アドバネクスモーションデザインに社名変更。携帯電話向け事業からも順次撤退。

**コア事業集中のためのステップ**



ADVANEX

# 1-7　タイ第2工場の設立について

所在地:　　チョンブリ県アマタナコン工業団地
　　首都バンコクから57km東、日系自動車部品メーカーが多数入居
建物面積:　2,875㎡　（アユタヤ県にある第1工場は3,300㎡）
設立経緯:　タイ東部のばね製品需要に対応するため工場開設計画あり。
　　アユタヤ工場の洪水被害を受け、予定を早め、昨年11月に開設。
今年の7月に第1工場が操業再開、今後は第1工場を線ばね、第2工場を板ばねの専用工場とする予定。

**海外事業拡大のためのステップ**





（2011年10月）



ADVANEX

# （参考）タイ工場の洪水被害について

**浸水したアユタヤ工場 （撮影：2011年10月16日）**






**２段に重ねたコンテナに避難させていた金型を搬出 （撮影：10月25日）**








ADVANEX

# 2. 2013年3月期事業方針

# 2-1 資本金・資本準備金の減少について

目的： 欠損填補

本年７月末に実施。2013年３月期の当期純利益（子会社からの受取配当金を含む）によって、繰越損失(欠損）を解消し、６期ぶりに復配（1株あたり1円）を行う予定。

| 資本勘定内訳（個別）（百万円） | 2012/03末 | | | | | 2012/07末 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 残高 | 減資 | 準備金取崩 | 剰余金取崩 | 積立金取崩 | 施策実行後 |
| ① 資本金 | 3,451 | △2,451 | | | | 1,000 |
| ② 資本準備金 | 862 | | △612 | | | 250 |
| ③ その他資本剰余金 | 1,681 | | | △1,681 | | 0 |
| ④ 資本剰余金合計 ②+③ | 2,544 | | △612 | △1,681 | | 250 |
| ⑤ 別途積立金 | 200 | | | | △200 | 0 |
| ⑥ 繰越利益剰余金 | △5,303 | 2,451 | 612 | 1,681 | 200 | △357 |
| ⑦ 利益剰余金合計 ⑤+⑥ | △5,103 | 2,451 | 612 | 1,681 | 0 | △357 |
| ⑧ 自己株式 | △3 | | | | | △3 |
| ⑨ 株主資本合計 ①+④+⑦+⑧ | 888 | 0 | 0 | 0 | 0 | 888 |
| ⑩ その他 | 12 | | | | | 12 |
| ⑪ 純資産合計 ⑨+⑩ | 901 | 0 | 0 | 0 | 0 | 901 |



ADVANEX

# 2-2　今後の事業方針（1）

## 精密ばね事業

**中期目標：売上成長率 10%/年の継続**
**営業利益率10%の達成（2016/3期）**

**今期は成長の基礎固め**

・国内　エリア拡大による売上増加（提案営業による潜在顧客開拓）
　　M＆A戦略（中小ばねメーカーを検討）
・海外　新工場設立（大手顧客の生産海外移転に対応）
　　中国・華東地区　(2012年)、インド（2014年）ほか
・グループネットワーク強化
　　個別最適から全体最適を追求する体制への転換
　　本社・アジアの経営一元化：　シンガポール子会社社長を本社役員に抜擢

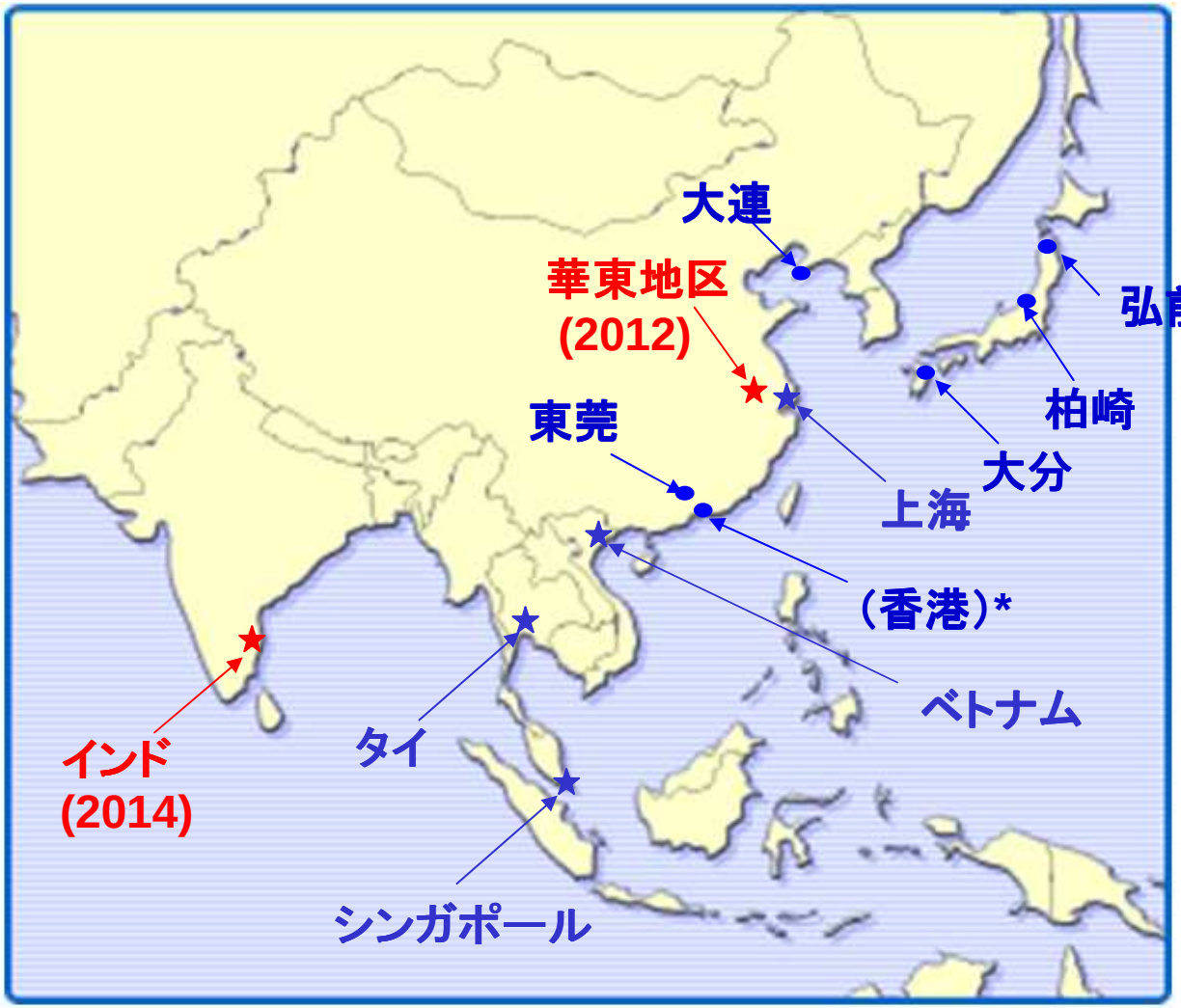
重点市場：　OA機器、自動車、医療

戦略商品：　タングレスコイルスレッド、インサートカラー
　　TAMONT、ダンパー等の高付加価値製品



ADVANEX

# （参考） アジアの精密ばね生産拠点




*香港は販売会社



ADVANEX

# 2-3　今後の事業方針（2）

## プラスチック事業

**海外事業強化と利益率の改善**

・自動車向け販売を強化
　　OA機器向けは海外生産移転により国内売上高減少
・海外営業との連携強化、グローバルセールス拡大
　　マレーシア子会社の完全子会社化（現地資本の30%株式取得）
　　中国、ベトナムの収益拡大
・高性能ギヤユニット・セラミック製品等の高付加価値商品の開発強化

## ヒンジ事業

**新規需要開拓**

・グループの回転系技術をトータルでマーケティング
・自動車・医療・住設関連向けの新規需要開拓

# 3. 2013年３月期業績見通し

# 3-1　2013年3月期業績予想について

## ■売上高はほぼ前期並み

精密ばね事業やプラスチック事業において自動車向けの売上増加を見込むものの、OA機器やPC関連向け売上高の減少、携帯電話向けヒンジ事業の縮小から、売上高については、ほぼ前期並みを予想。

## ■ヒンジ事業の損失が大幅に縮小

精密ばね事業の利益が減少するものの、プラスチック事業の増益とヒンジ事業の損失縮小により、営業利益についてもほぼ前期並みを予想。最終利益もほぼ前期並み。

# 3-2 2013年3月期通期業績予想(連結)

| (百万円) | 12年3月期 | | 13年3月期 | | 第2四半期増減 | | 通期増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2Q累計 | 通期 | 2Q累計 | 通期 | 額 | 率 | 額 | 率 |
| 売上高 | 13,096 | 25,191 | 12,000 | 25,000 | △1,096 | △8.4% | △191 | △0.8% |
| 営業利益 | 409 | 612 | 200 | 650 | △209 | △51.1% | 38 | 6.0% |
| 営業利益率 | 3.1% | 2.4% | 1.7% | 2.6% | △1.4% | - | 0.2% | - |
| 経常利益 | 190 | 470 | 80 | 350 | △110 | △58.1% | △120 | △25.6% |
| 当期純利益 | 17 | 226 | 50 | 200 | 33 | 179.1% | △26 | △11.7% |

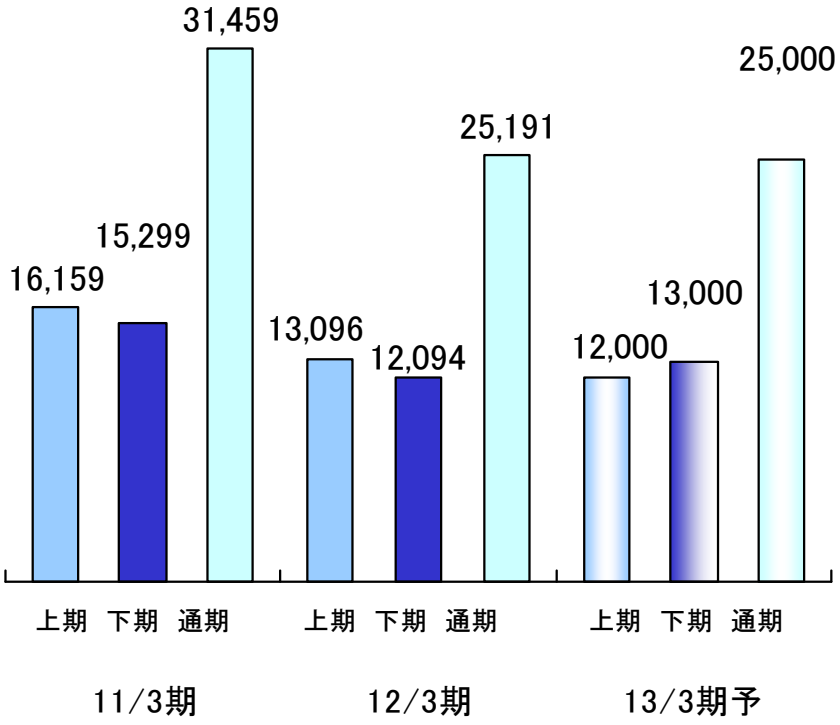


ADVANEX

# 3-3 業績推移(連結)

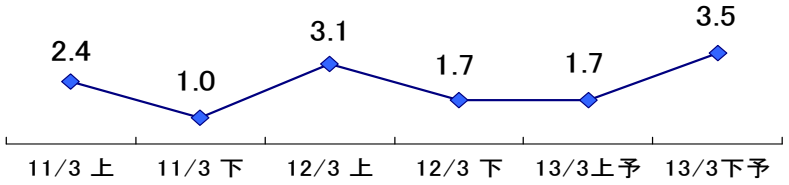
## 売上高

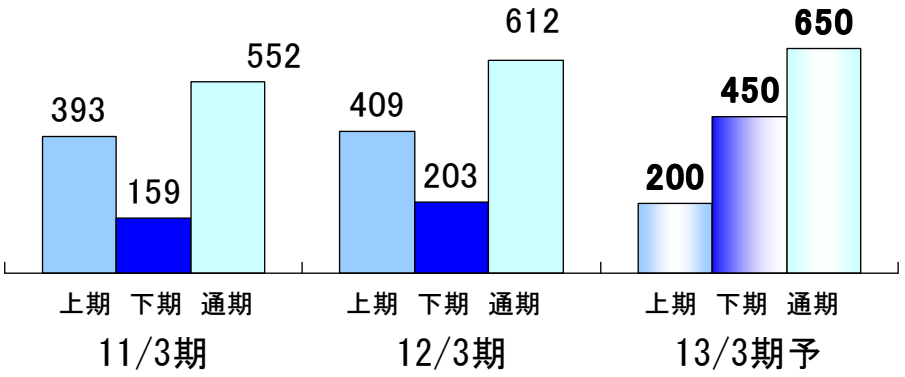
(単位:百万円)




## 営業利益・利益率

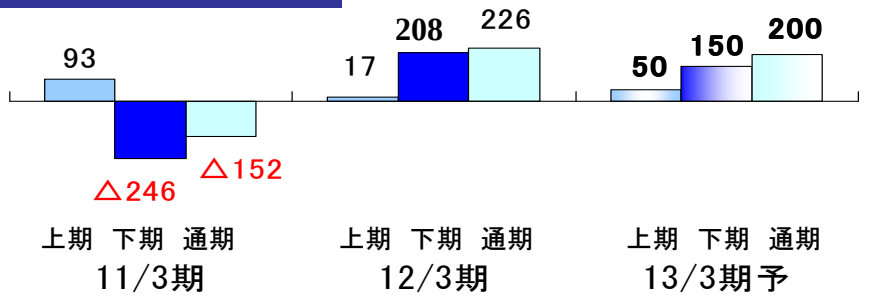
(%)




## 当期純利益

(単位:百万円)



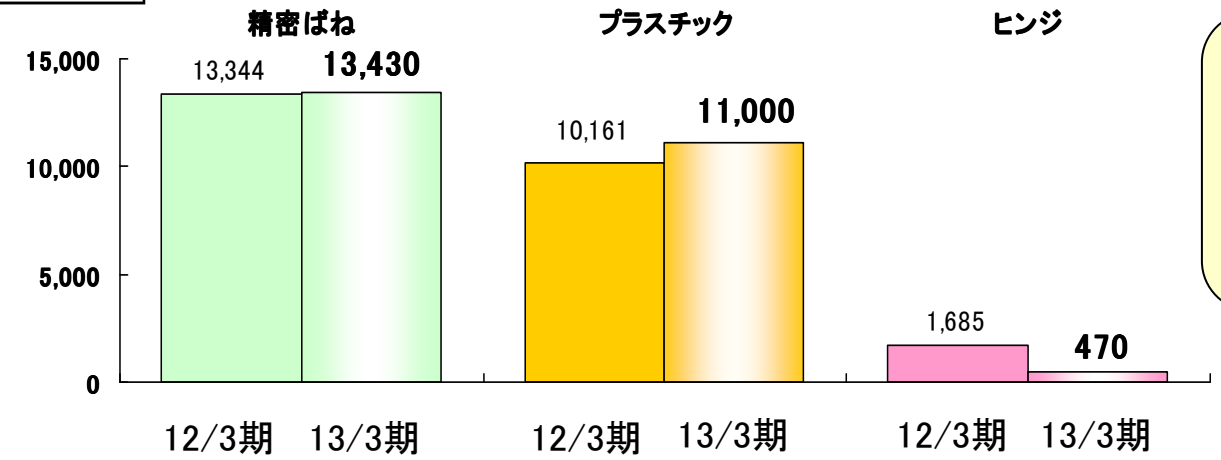



ADVANEX

# 3-4 事業別売上高・セグメント利益の比較

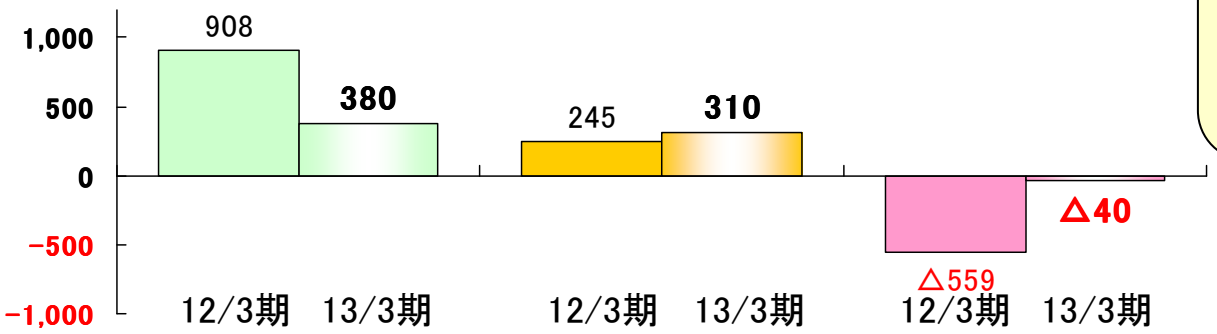
## 売上高

（単位：百万円）




精密ばね事業は、自動車向けが伸びるものの、OA機器やPC関連向けが減少。プラスチック事業は自動車向けが増加。ヒンジ事業は、事業縮小が更に進む。

## セグメント利益




精密ばね事業は、国内で利益率の高い商品が減少するため、利益が減少。プラスチック事業は売上増に伴い、利益増加。ヒンジ事業は、損失が大幅に縮小。



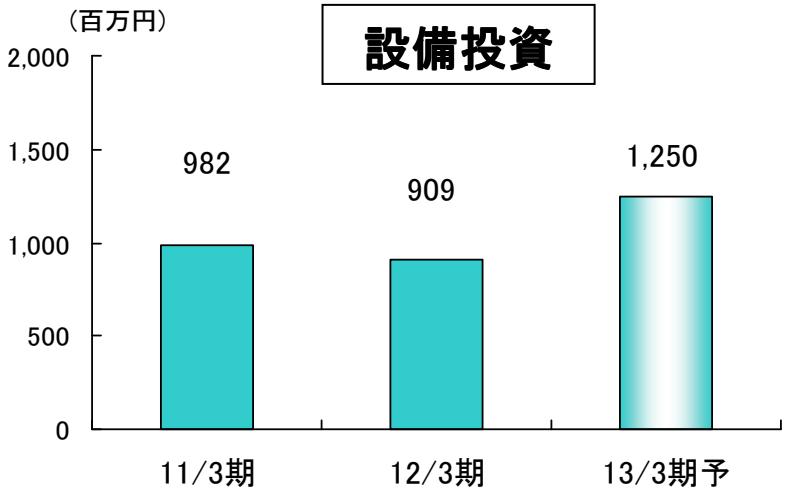
ADVANEX

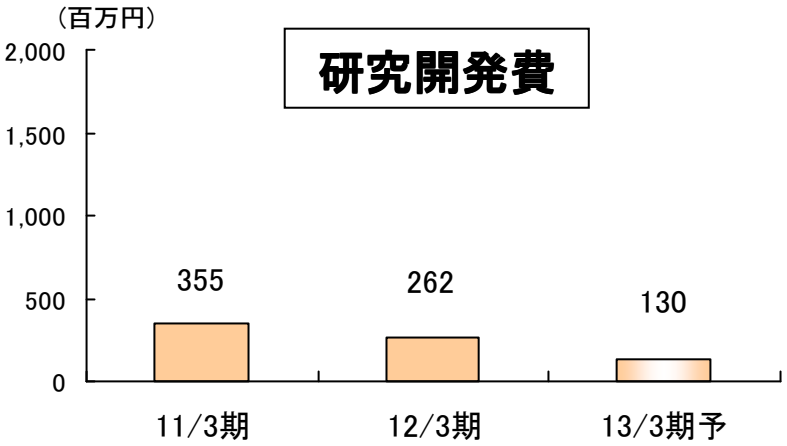
# 3-5　設備投資今期計画

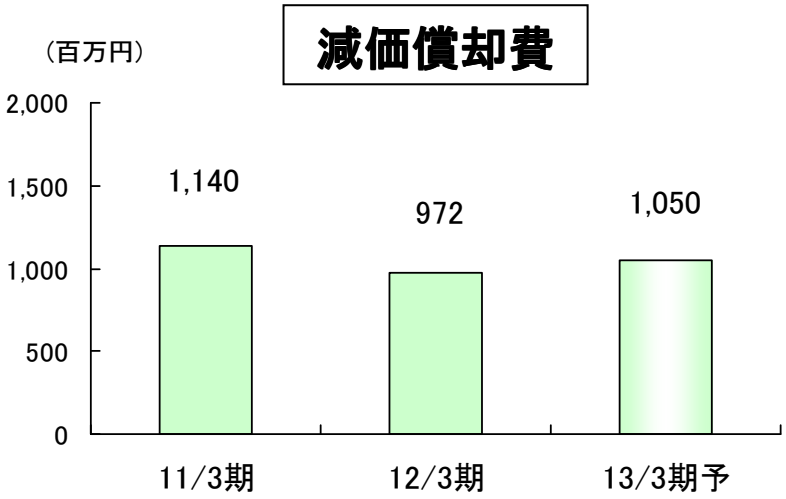
**■タイ工場の復旧費用・機械購入のため設備投資額が増加**

**設備投資:　機械装置、試作設備ほか**
**国内　400百万円　　海外　850百万円**

**研究開発費:ヒンジユニット開発費減少**






ADVANEX



ADVANEX

## （お問い合わせ先）


**株式会社アドバネクス**
**広報IR部**

TEL：03 － 3822 － 5865　　FAX：03 － 3822 － 5873

**URL：http：//www.advanex.co.jp**